



<この指導の前に準備すること>

○防災教材「クロスロード」

※千葉

(043-223-(5-9) で貸し出しをしています)

<授業展開例> (全学年実施)

第〇学年 学級活動学習指導案

1 題材名 その時あなたは どうしますか？ (クロスロード)

2 題材の目標

- (1) 災害時の対応を自らの問題として考えようとするができる。
 (2) 災害時の課題に対し、他者の考えも取り入れながら、自らの考えをもつことができる。

3 題材の評価

- (1) 他者の意見を聞き、尊重し合意形成することができる。
 (2) 自分の意見を、根拠をもって伝えることができる。

4 本時の活動

課題に対し、自分の考えをもち判断するとともに、他者の考えも取り入れ災害について積極的に考えることができる。

5 本時の展開

時配	学習内容・学習活動	支援 (○), 留意点 (●), 評価 (☆)
導入 (10分)	1 「ちば・ふるさとの学び」 P 6 7 「2 阪神・淡路大震災に学ぶ」を読み、地震災害時の状況を知る。 2 本時の課題を知る。	・災害時は、揺れによる被害に加え、避難所への避難など、さまざまな状況が発生することに気付かせる。(●)
展開 (30分)	<p>学習課題 災害時の行動を、クロスロードを使って考えよう (自助・共助)</p> <p>クロスロードについて知り、グループ作りをする。 ・「クロスロード」の概要 ・ゲームの進め方 ・「YES」「NO」カードを配る ・座布団カードを適宜配る</p>	・クロスロードのゲームの仕方を理解させ、男女別グループ作りをする。(○)
	<p>【グループ】 ・男女混合5人組 (または、それ以上の奇数人数グループ)</p> <p>【ゲームの進め方】 ①問題カードを、代表生徒 (または指導者) が読み上げる。問題の答えは、「YES」「NO」のどちらかとする。 ②問題に対し、自分ならどう判断するかを考え、決まったカードを裏返しにして出す。 ③グループ全員が出し終わったら、一斉にカードを表にする。 ④多数派になった場合は「青座布団」を1枚もらえる。一人だけ違うカードを出した場合、「金座布団」がもらえる。 ⑤多数派、もしくは「金座布団」をもらった人から、その理由を順に話す。 ⑥友達の意見は絶対否定しないこと。</p>	

	<p>3 クロスロードゲームをとおし、災害時について積極的に考える。</p>	<p>・状況に応じ、グループの話の内容を全体に伝えるなどゲームが活発になるようにする (○)</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>4 ワークシートに振り返りを記入し、今後の防災について考えをもつ。</p>	<p>・課題に対し、自分なりの考えを持ち他者に伝えるとともに、他者の考えを受け入れることができた。評価 (☆) ・ワークシートに振り返りを記入し、災害時の判断の重要性と、災害に対する備えの必要性を理解できた。(☆)</p>
<p>【課題例 1】 ○あなたは海辺の集落の住民です 地震による津波が最短 10 分でくるとされる集落に住んでいる。今地震発生。早速避難を始めるが、近所の一人暮らしのおばあさんが気になる。まず、おばあさんを見に行く？ YES：見に行く NO：見に行かない</p> <p>【課題例 2】 ○あなたは市民です 大きな地震のため、避難所（小学校体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼い犬“もも”（ゴールデンリトリーバー，メス 3 歳）がいる。一緒に避難所に連れて行く？ YES：連れて行く NO：置いていく</p> <p>【課題例 3】 ○あなたは市民 非常袋を持って避難所に避難してきました。しかし周りの人は、水も食料もありません。空腹なあなたは、その人たちの前で、水や食料が入った非常袋を開けられる？ YES：開けられる NO：開けられない</p> <p>【課題例 4】 ○あなたは市民 大地震で我が家は半壊状態。避難してきた避難所では風邪が大流行。あなたは、避難所を出て家に戻る？ YES：戻る NO：戻らない</p> <p>【課題例 5】 ○あなたは避難所運営担当者 避難所に 600 人が避難してきています。避難所におにぎりが 400 個届きました。あなたは、おにぎりを配る？ YES：配る NO：配らない</p> <p>【課題例 6】 ○あなたは避難所に来ているボランティアのリーダー 普段は一生懸命作業している大学生のボランティア。作業をしている時間にいなかったもので、体育館裏に行ってみると、女子ボランティアと楽しそうに話をしている。あなたは注意する？ YES：注意する NO：注意しない</p>		